

11・4日比谷野音へ!

2012年10月8日
No.59

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

10/5-6法大集会打ち抜く!

「キャンパスで当局と激突し、反原発運動の大爆発と学生自治会の復権をかちとろう!」第72回全学連大会提起の実践として、動労千葉・動労総連合の10・1外注化阻止闘争の大高揚と一体で法大でも激しい闘いが打ち抜かれています。

10月5日、6日には法大キャンパスにおいて文化連盟・全学連による連続的な集会が闘いぬかれました。

5日昼休み、「国際文化学部3年・武田君への処分阻止、学祭規制撤廃」を掲げて、当該学生を先頭にキャンパス中央で集会を行いました。



キャンパス内で法大当局を追及!

●国際文化学部が申入書の回答拒否!

この日は武田君ら文化連盟の仲間が国際文化学部に提出した「武田君への処分警告文を撤回しろ」という申入書の回答期限日でした。これに対して国際文化学部は完全にゼロ回答。怒りに燃えた武田君らはマイクを持って門前から学内に突入し、学生センター長・鈴木良則(法学部体育教師)をはじめとした弾圧教職員を徹底追及。

武田君は「理由も説明できないのに(不当処分によって)授業にでれない学生が2桁もいます。そんな中で学祭の規制が強化されようとしています。これ以上の大学の理念の放棄を許すわけにはいきません。かつて全学連は戦犯追放と学生の生活防衛を掲げて決起しました。い

まこそ学生運動が必要です『。3・11戦犯教授の追放、学生の生活防衛、僕への処分阻止、学祭規制撤廃』で学生は今こそ決起しよう!」と訴え、学生の圧倒的注目中、断固として学内集会を打ち抜きました。この闘いは2008年の「一人の仲間も見捨てない、これ以上の大学の暴挙は絶対に許さない」というスローガンのもと闘われた文連決起を想起させる闘いそのものです。ついに新たな世代が決起を開始したのです。

●10・19法大デモへ!

武田君を先頭とした闘いに法大当局は完全に追いつめられています。一方で学祭規制や武田君処分に対する学生の怒りは爆発寸前です。全世界で今、ゼネラルストライキがギリシャやスペインはじめ、中国やインドネシアなどでも始まっています。10・19法大デモを、世界の労働者・学生と連帯するものとして大爆発させよう!

残り2週間、全力で組織化を!



武田君(国文3)叫ぶ!

10・19法大包囲デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

法大で御用学者弾劾行動！

6日には法大で行われた御用学者・大久保利晃（放影研理事長）に対する怒りの弾劾行動に、武田君らを先頭に文化連盟・全学連の仲間が決起しました。文化連盟を排除する一方で御用学者は学内に呼ぶ法大当局の姿こそ、今の大学であり社会のあり方を示しています。門前集会と共に、会場前でも武田君らが久保弾劾を叩きつけました。

10・5-6の闘いの大高揚から、10・19法大デモ-11・4労働者集会へ全国学生は総決起しよう！



10・5霞ヶ関一帯で反原発行動！

10月5日18時より、反原発行動が数万の規模で打ち抜かれました。（右写真）

この日は大間原発再建設阻止や山下俊一らによる甲状腺調査検討委の事前「秘密会」に対する怒りの声が霞ヶ関一帯にこだましました。

オスプレイはじめあらゆる怒りを結集し11・4労働者集会と11・13反原発100万人行動へ！



11・4全国労働者総決起集会

**新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！
JR外注化阻止！ 反原発・反失業、野田倒せ！**

◆11月4日(日) 正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

